

変わり者がdies世界に転生して強くなる話

yukizake727

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

日常に不満を持つ主人公界道世亡はある日目が覚めると真っ白な空間にいた。

そこで世亡は神様から衝撃の事実（笑）をきき絶望する。

神様は哀れにおもい特典付で転生させてやるよと提案する。

世亡はチートな特典を見事に引くも転生先は某怒りの日の世界

この物語は世亡がヤケクソで原作ブレイクしながら特典以外のチートを自力で手に入れたり無意識にフラグをたてたりするお話です

プロローグ

目次

プロローグ

突然だが、皆は神様転生を信じるかい？もちろんぼくは信じるよ。だってまだ「闇の炎に焼かれて消えろ」とか言ってワイワイして凄く楽しめる14歳だからね。

で、そんな僕なんだけど・・・今、すつごく白い空間で某課金ゲーの7章に出てくるラフムみたいな姿をした物体に土下座されている。

「本当に申し訳ない☆」

僕は、できればこのクリーチャーが神様じゃないことを祈る。

「現実を見るんだ」

なんか言ってる気がするけどキノセイダ。きつと僕を転生させてくれる神様は僕好みのロリロリしい幼女の姿をしているに違いない。

さあ目をつぶろう。そしたらきつと目の前にいるこのクリーチャーが幼女になるに違いない。

「残念だったな、私はこの姿以外だと深きモノどもみたいのになれんぞ」

なん・・・だと・・・ん？もしかしてこいつ心読んでる？

「イグザクトリーその通りでございます」

えーマジカー心読めるのか・・・

「つかぬことおうかがいたしますが？もしかして本当に神様だったりしますか？」

「だからさつきからいっておるだろう？ワタシが☆神だ！」

・・・ヤベーよ知らなかったとはいえ神様にラフムみたいとか言っちゃったよ

「私は他の神とは違って心が広いから別に気にしちやいないよ」

ふーそれは良かった。もしかしたら「無礼者め消え去れ」とか言われて消滅させられるんじゃないかって思ったよ

「そんなことするわけ無かろうが・・・」

ていうかそろそろ本題入って良いか？」

「あっはいどうぞお願いします」

「うむ……では言うぞ！実はな……私のミスでお主を殺してしまつたのだ」

はいテンプレテンプレどうせ死因なんかトラックに跳ねられたとか何だろ？

「いや、お主の死因はそんなものではない」

なん……だと……

「お主の死因は私が描い無様系のエロ画像を間違つてニジ〇に投稿してしまい主がそれを見つけ気に入り抜きまくったせいで頭がぼーつとなり運悪く転けた拍子に床に放置していたト〇カが頭にめり込んで死んだというものだ」

え……死因トミ〇なの？シヨボすぎない？

「……そうだ、お主のこと今ニュースになつとるぞ！見てみるか？」
見る見る！

「えー、今朝14才の少年が自宅で死体として発見されました。少年の頭部にはw w某おもちや会社の有名商品である〇ミカが刺さつており、警察は「こんな自殺有り得ない」と判断し、この事件を殺人事件と認定、今も捜査が続けられています。またこの事件の犯人をトイキラーとして国際的に指名手配することです」

あああんまああありだあああこんな死に方恥ずかしすぎるよ！

「一族の恥曝しさん」て呼ばれた日にや反論すら出来ねえよ！つか今なら怒りで超越者になれそう

「落ちて落ち着け、そう慌てるな」

でもどうすりゃいいんだよ、クソみたな一度きりの人生をトミカで幕引いたんだよ！

どうしてくれんだよ

「そうじゃのー、そうだならばお主には転生してもらおう！」

やった！てことは特典とかくれんの？

「もちろんだ！では早速この転生特典くじ引き（キャラへの愛情or 憧れ）を引くんじゃ」

やったー、それじゃあ引くよ！

オラア！

無駄ア！

アライ！

ボラア！

結果

1 甘粕正彦の持つ力全て

2 クリームリヒトの持つ力全て

ふあ！チートすぎね!?

「じゃあ次は転生先だ！引くのじゃ」

ドラア

☆D i e s i r a e

．．．．ふあ!?

「良かったじゃないか？好きなんだろう？チートってやつが？ほらさっさと行ってこい！」

あ．．．．詰んだ